

会 議 録

会議名 (付属機関等名)		第24回(令和4年度第1回)キセラ川西エコまち協議会	
事務局(担当課)		土木部公園緑地課	
開催日時		令和4年8月12日(金) 10時00分 ~ 12時00分	
開催場所		オンライン開催	
出席者	委員	加藤、山中、松村、武田、松下(代理)、松塚、辻田、中垣、畑中、人見、小西、宮定(敬称略)	
	その他	(オブザーバー)藤田(代理)、松井(敬称略)	
	事務局	足立、渡辺、鈴江、古山、三木 (調査機関)絹原、中川、杉山、高山、西本	
傍聴の可否		可	傍聴者数 0人
傍聴不可・一部不可 の場合は、その理由			
会議次第		1. 開会あいさつ 2. 報告(前回からの動き) 建築行為等の手続条例運用状況(令和4年6月30日時点) みどり部会について 環境学習・普及啓発 みどり分野におけるまちの緑化モニタリング及び状況報告 3. 議事 キセラ川西エコまち建築賞 第5回 選考会 受賞候補の承認 建築分野におけるエネルギーモニタリング サイン計画について 「キセラ川西低炭素まちづくり計画」の評価と今後に向けて(検討案) みどり部会 効果検証アンケートの実施について 4. 今後の予定	
会議結果		別紙審議経過のとおり	

審議経過

<開会>

- ・ 会議の成立、公開、資料、本日の出欠者について事務局より確認した。

1. 開会あいさつ

○土木部長

- ・ 本日は、お忙しいところ、また、世間は既にお盆休みに入っているところですが、ご出席いただきありがとうございます。当協議会は平成 24 年にスタートし 24 回目になる。スタートから 10 年、これまで多くのご意見を頂戴し、ご審議を賜りましたことお礼申し上げます。
- ・ 当協議会は後 2 回となっており、「キセラ川西低炭素まちづくり計画」をどのように総括していくかという段階になっている。議題に、「キセラ川西低炭素まちづくり計画」の評価と今後に向けて」をあげているので、最終に向けてぜひ活発なご議論をいただければと思う。
- ・ その他、キセラ川西エコまち建築賞、建築分野におけるエネルギーモニタリング、サイン計画、みどり部会効果検証アンケートの実施などの重要な案件があるので、重ねて慎重なご議論をお願いしたい。
- ・ 本市では、8 月 1 日に「2050 年川西市ゼロカーボンシティ」宣言を致しました。これまでの本協議会の取り組みが、未来に向けた本市の脱炭素化社会形成の一助となるよう、事務局としても尽力したいと考えているので、よろしくをお願いしたい。

2. 報告(前回からの動き)

○事務局

・ 資料説明

建築行為等の手続条例運用状況(令和 4 年 6 月 30 日時点)(資料 1-1)

みどり部会について(資料 1-2)

環境学習・普及啓発(資料 1-3)

みどり分野におけるまちの緑化モニタリング及び状況報告(資料 1-4)

○会長

- ・ ただいまの報告事項について、ご質問ありましたらご意見をお願いしたい。

○委員

- ・ 資料 1-2 の、左下のキセラ川西せせらぎ公園の利活用の状況について、清和源氏まつりをコロナ禍で 5,000 人規模ということで実施した。計画は 4,000 人で出していたが、結果的には 7,000 人くらいが来られた。参加人数 2 万人となっているが、この数字はどこからか。

○事務局

- ・ 参加人数については、主催者側から報告を受けているものであるが、委員の指摘の通り、多すぎるので、訂正させていただきたい。

○会長

- ・ 主催者発表と警察発表では、倍違うということもよくあることではある。主催者はどこか。

○委員

- ・ 主催者は、市が主体となり実行委員会を組成している。

○会長

- ・ 訂正があるならば、訂正をしていただきたい。過去の総括で異常値が出ているということにはならないように、確認いただきたい。

3. 議事

キセラ川西エコまち建築賞 第5回 選考会 受賞候補の承認

○事務局

- ・ 資料説明

キセラ川西エコまち建築賞 第5回 選考会 受賞候補の承認（資料2-1）

○会長

- ・ ありがとうございます。資料は一枚であるが、選考会として3物件、選定させていただいている。川西市立総合医療センターは、まったく問題なく、うらやむほどの低炭素かつ景観面に配慮いただいた。川西市の財産になるのではないかと思う。ユニハイムキセラ川西せせらぎ公園も積極的な低炭素の仕様であった。あい保育園は低層であるが、地域の低炭素の地域整備からもユニークな位置づけでシンボリックなものになるのではないかという総評になるかと思う。
- ・ 特に、ご意見なければ、今の選考案をエコまち協議会として承認させていただく。

建築分野におけるエネルギーモニタリング

○事務局

- ・ 資料説明

建築分野におけるエネルギーモニタリング（資料2-2）

○会長

- ・ 詳細にわたるエネルギーモニタリングに関する説明をいただいた。こちらについて、公表して良いか、また説明が分かりづらい点などあれば、ご意見、ご質問をいただきたい。

○副会長

- ・ 特に、意見はない。公表の箇所については分かりやすくしていただいていると思う。

○会長

- ・ 順調に推移しているようである。まだ空地、未利用地がある。データ取得は今年度で終了と思うが、土地利用され、削減量がある可能性もあるが、その取扱いはどうされるのか。

○事務局

- ・ エネルギーモニタリングを7年間実施したことで、新築建物については、約3割の削減が見込めることが分かったので、今後の建物も一定の割合で満たされるのではないかと思う。

○会長

- ・ データは今後も取得するのか。

○事務局

- ・ しない予定である。

○会長

- ・ データ取得しないということであれば、今後は推計値で抑えていくということで理解した。

サイン計画について

○事務局

- ・ 資料説明
サイン計画について（資料 2-3）

○会長

- ・ 交通部会が閉じられているので、サイン計画については、当協議会に全権委任となっている。部会内で未調整の4点について、説明いただいた内容で決着したということであった。ご意見ご質問があればお願いしたい。

○委員

- ・ 交通部会の活動は終了しているが、残っていた宿題について、専門家等にも相談しながら、適切に取りまとめていただいていると感じている。

○会長

- ・ それでは、さきほどの説明について、承認したい。

「キセラ川西低炭素まちづくり計画」の評価と今後に向けて（検討案）

○事務局

- ・ 資料説明
「キセラ川西低炭素まちづくり計画」の評価と今後に向けて（検討案）（資料 2-4-1）
「キセラ川西低炭素まちづくり計画」の評価と今後に向けて 資料編（資料 2-4-2）

○会長

- ・ 膨大な資料、評価について説明いただいた。事務局の方で評価いただき、間違いはないと思うが、当協議会の評価、今後への提案ということで承認していきたい。ご質問などあれば各委員からお願いしたい。

○副会長

- ・ 「キセラ川西低炭素まちづくり計画」の評価と今後に向けての文書の性格について、協議会がどこに向けて出すのか。川西市か。

○事務局

- ・ 川西市に対してということである。

○副会長

- ・ 市からの諮問ということではないのか。協議会から市長宛てということか。

○会長

- ・ 諮問はされていないが、協議会の役割として、自主的に評価をして提案をしたということである。

○副会長

- ・ 資料 2-4-1 の P5 の今後に向けての案が、文言の最後について、ほとんど「期待する」という表現であるが、遠慮がちなトーンであるので、協議会としてこうしてほしいという思いを提案するというのであれば、「提案する」や「要望する」というような表現の方が良いのではないか。

○事務局

- ・ 現時点は、全て「期待する」にさせていただいている。ご意見受けて、変更を検討していきたい。
- ・ 今回の資料は、前回の資料から「期待される」というものを「期待する」に修正していた。

○会長

- ・ 「期待する」に変更いただいていたが、より主体的な表現にしていってはどうかというご意見であった。本資料は、諮問はされていないが、自主的に評価したほうがよいということで、提案するものであることから、みなさんからのご意見もいただければと思う。
- ・ もう少し、積極的な表現を入れてはどうかと思う。

○事務局

- ・ 「期待する」から、「提案する」「要望する」という表現に変えることを検討したい。

○会長

- ・ それでは、当協議会からは「提案する」「要望する」という表現に変更することとする。

○副会長

- ・ 今後、キセラ川西地区で継続的に出来るかによるが、長い年月が経つと忘れられる可能性があるかと危惧している。看板があったとしても、看板も劣化する。
- ・ 将来に向けて、取り組みを残していくことを考えると、住居表示変更の提案は出来ないか。キセラがついていれば、未来永劫、キセラ川西と分かるのだが、いかがか。また、そのような提案は

可能か。

○会長

- ・ 魅力的な提案だが、事務局はいかがか。住居表示を変更することは、既成市街地では、なかなか大変なことではある。

○事務局

- ・ 魅力的な提案だと思っており、何とかキセラの名称を残していきたいとは思っているが、今後の評価と今後に向けての提案として盛り込むというご意見と受け止めてよいか。

○副会長

- ・ 可能であれば、追記していただければと思うが、どの分野になるのかが分からず提案をしている。

○事務局

- ・ 盛り込み方については、検討させていただきたい。サイン計画やお店のほとんどが、キセラ川西と冠をつけていただいております、一定キセラの名称が残っていくのではないかと考えている。
- ・ もう少し後世に残る形の提案について、どこかに検討していきたい。

○会長

- ・ キセラ川西のロゴなどを決めてきた分野については、どこになるのか。

○事務局

- ・ 名称やロゴは、個別の建物において、建築分野で一定お願いしていた。一方、まち全体で残してほしいということであれば、都市構造分野になるかと思う。

○会長

- ・ 都市構造分野に、一項目、遺産の継承として追加してはどうか。その一例として、まちの通称についても考えたい、という2段階の提案かと思う。これまでのまちづくりの遺産を継承し、なくならないようにするというのはひとつの提案かと思う。
- ・ モニタリングデータについて、令和3年度が記載されている。これから、病院のデータなども出てくるかと思うが、これは間に合わないのか。

○事務局

- ・ 令和4年度調査データは、今回の議事内容で挙げさせていただいているが、病院は含まれていない状況である。

○会長

- ・ 間に合わないということか。残念である。それでは、エネルギーモニタリングは令和3年度まででストップするということか。了解した。
- ・ タイトルは、本計画の総括ということだが、第6章の総括となっている。小見出しの問題だが、

5は本計画の総括の概要になっており、6は総括と方針として、具体的な内容が展開されるという構成であれば、本計画の総括が頭出しになると、6は5 - 1になる。

○事務局

- ・ 前段を本計画の総括の概要というような表現としたい。

○会長

- ・ そのようにしていただくと、総括はここでは終わらないということが良くわかるかと思う。

○委員

- ・ みどり部会に関して3点ほど意見がある。
- ・ まず、P3の総括の4つ目について、みどり部会の記載がある。後半の部分がみどり部会についての記載であるが、公園利活用ガイドライン策定に重きが置かれ過ぎた表現になっている。やってきたのは市民の自由かつ柔軟な公園利活用の推進に関する議論である。よって、市民の自由かつ柔軟な公園利活用を推進することを目的とした公園のあり方に関する議論を進めるとともに、ガイドラインの策定や改定を実施してきたと記載いただけると良い。
- ・ 次に、P6について、みどり分野の総括をしていただいているが、今後に向けての所で、市に対してのメッセージということなので、市に対して公園の管理者としてのマネジメントの推進とあるが、市だけが公園管理者としてマネジメントを進めて行くというのは、これまでの歩みからすると少しおかしいので、公園管理者として、これまでの市民活動の更なる連携のもとにマネジメントの推進を図って行く、といった様に市民との協働やこれまでやってきたことを活かしてマネジメントの体制をつくっていくという表現にしていきたい。
- ・ 最後、P14のみどり分野の個別の評価についての達成状況について、市民のアイデアが行政、住民、専門家を動かしたという表現になっているが、市民のアイデアで市民自ら実施したということかと思うので、市民のアイデアが行政、住民、専門家が連携した市民主体のまちづくりの基礎を築いているという方が適切かと思う。ここに関わった方が主体的に動く事で、市民まちづくりの基礎が築かれているといったような表現にさせていただく方が適切かと思う。

○事務局

- ・ ご意見踏まえて修正したい。

○会長

- ・ 公園管理者は、指定管理が入っているので、必ずしも自治体だけではない。民連携なりひとつの公園管理、マネジメントの在り方として、指定管理が大々的に採用されている。指定管理が公園管理者といえるのであれば、このままでもよいかとも思ったが、委員の主旨を汲んで検討いただければと思う。

みどり部会 効果検証アンケートの実施について

○事務局

- ・ 資料説明

みどり部会 効果検証アンケートの実施について（資料 2-5）

○会長

- ・ 説明について、ご意見いただきたい。これは、利用者に対するアンケートで、目的はよりよい整備、整備のレベルを評価するという手段で実施されることが通常である。
- ・ 通常、非利用者と利用者に分けて聞くことが第一段階とすると、分けて利用者について聞くこととなるが、今回、2つは重ならない。無作為抽出のアンケートとみどり部会のアンケートは属人的にいうと別人であるということである。それはそれでよいが、全体を評価する時に良いのか。

○事務局

- ・ 回答者は一致をしない。本来であれば、利用しているか、していないか、知っているか知らないかと把握していく方法もあるが、みどり部会で調査するものは利用者を対象としている。
- ・ 都市計画マスタープラン見直しに係るアンケートは、無作為抽出であり、単純に知っているかどうか、行ったことがあるかどうかという問にしており、結果は、別々にまとめる予定である。

○会長

- ・ 内容は良いが、社会調査方法として、一方は無作為抽出で、他方は利用者と限定しているのでバイアスがかかる。無作為に選んだという体裁が、みどり部会の方もとられると大枠の中ではよいかと思う。
- ・ 目的は将来のためにということか。

○事務局

- ・ 今年度でエコまち計画及び PFI 事業が終了することから、今後の姿について検討する際に参考にするとともに、もともとの課題である一旦の振り返りとして実施したいと考えている。

○会長

- ・ 結果については、さきほどの議案（「キセラ川西低炭素まちづくり計画」の評価と今後に向けて）の総括に反映されるのか。

○事務局

- ・ 市としても、他の公園とキセラの公園は異なるという評価をしたい、という思いもあり、アンケートを実施したいと考えている。評価の中については、結果を見ながら反映を検討していきたい。

○会長

- ・ 結果については、総括の中に、何らかの形で入れないと、協議会としては別ですと言われると寂しい気がする。委員からもご指摘いただいたので、ぜひ反映いただきたいと思う。

○事務局

- ・ 盛り込むように検討したい。

○会長

- ・ アンケート実施について、依存はないということで良いかと思う。

4. 今後の予定について

○事務局

- ・ 本日はご議論ありがとうございました。当日、資料の差し替え等不手際があったことをお詫びしたい。
- ・ 本日、審議いただいたエコまち建築賞の承認については、市の決裁を経て、表彰式を行う予定である。エネルギーモニタリングについては、すみやかに公表できるように進めていく。サイン計画も公園緑地課にて、総合医療センターの9月の開業に向けて設置予定である。キセラ川西低炭素まちづくり計画の評価については、いただいたご意見を踏まえ、最終協議会に図っていく。アンケートの実施については、今後実施し結果については説明したい。
- ・ 最後の協議会は、来年2月を予定している。日程が決まり、日が近づきましたらご案内する。

○会長

- ・ 次回、キセラ川西低炭素まちづくり計画の評価と今後に向けて最終案が提示されるが、各委員におかれましては、本日の資料について、もし何かお気づきの点があれば、直接事務局の方にメールでご提案いただければと思う。それらのご意見について、会長と事務局で検討したいと思う。